

令和7年度 学校評価報告書

学校名	三田市立広野小学校
-----	-----------

1 学校教育目標

魂みがく 学びにはげむ 心をつなぐ 広野っ子の育成

2 今年度の学校重点目標

<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな人間性や社会性を培い、ともに伸びる姿勢を育む ○基礎・基本の定着を図り、確かな学力をつける ○家庭や地域と課題を共有し、子どもの健やかな育ちを図る(「コミ・スク」を充実) ○教育環境の整備と学校安全の推進 ○業務改善の推進

3 総合的な自己評価

<p>児童アンケートでは、「学校が楽しい」「友達と仲よく遊んでいる」と感じる児童が増え、安心して過ごせる環境が広がっていることがうかがえる。一方で、すべての児童が肯定的に捉えているわけではなく、引き続き丁寧な見守りが必要である。「5つの約束」に関する生活面の意識は概ね維持されており、良い習慣として定着しつつある。保護者の協力による生活習慣の向上も見られるが、自分の考えを発表する力や読書、家庭学習には課題が残る。今後は安心して表現できる環境づくりや主体的な学びの充実を図り、家庭と連携しながら取り組みを進めていく必要がある。</p>

4 総合的な学校関係者評価

<p>児童・保護者の学校評価において、多くの項目が 80～90%以上と高評価であった。課題となることは、「自分の考えを進んで発表すること」「すすんで読書をする」「帰ってから宿題の他にも勉強している」の項目が他と比べて低いことから更なる工夫や手立てを講じていくことが大切である。また、習い事についてのアンケートや、塾にどれだけ行っているのか、帰宅後の学習についてのアンケートをとって分析するのも良いのではないかと。そのうえで、学習内容についても小学校と中学校と連携して取り組む必要がある。</p>

5 評価結果

自己評価			学校関係者評価	
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
教育目標 学校運営	「魂みがく」「学びに励む」「心をつなぐ」学校の具現化を図る教育活動ができています。	教育目標の実践「よくできた」78%「できた」22% 保護者の肯定的評価は92%で良好である。	教育目標を反映させた学年目標を設定し、実現に努めることを継続。生活・学習習慣の充実のための方策を小・中学校連携して取り組む。	「学校に行くのが楽しい」については、楽しくないが8%ある。これが問題である。対人関係などがあったと思うが、楽しくないのはなぜか、理由の分析が必要である。
	安全を確保し、教室・廊下等が学びの場として整備され、掲示物の環境が整えられている。	教室掲示や教室環境「よくできた」11%「できた」78% 保護者「安全のための取り組み」96%で良好である。	児童の安全第一を踏まえて、施設・設備の点検を定期的に行っている。校舎の老朽化に伴う課題にも対応を検討していく。	
教育課程 学習指導	子どもたちは意欲を持って学び、ICTを活用して、教科の学びの本質に迫ることができている。	ICTの活用「よくできた」13%「できた」75% 児童「学ぶことは楽しい」は83%で良好である。	本校児童の学力課題を意識した学習指導が実践できた。今後もICTを効果的に活用することで、より深い学びにつなげていく。	ICTを活用した学習は子どもたちにとっては楽しく進められる。しかしAIを使うようになると問題が生じてくると予想される。また、タブレットの使用頻度によっては、読書をすすめるうえで難しいのではないかと。しかし、本の検索をしている子どももいるので、その面では読書週間につながっていると考えられる。
	校区に対しての愛着と誇りを持つとともに、基礎基本の学力を定着させ、進んで家庭学習をする習慣が身についている。	学習指導の実践「よくできた」11%「できた」89% 保護者「学力を身につけている」は75%で概ね良好。	学習活動の中で地域素材を取り扱うことができた。家庭学習の習慣で保護者アンケート44%と課題が見られたので、家庭との連携を図っていく。	
人権教育 生徒指導	人間尊重の精神に基づき、お互いを認め合い、ともに伸びる姿勢が育まれている。	人権尊重の精神の育成「できた」88% 保護者の肯定的評価は98%で良好である。	人権教育についての校内研修を計画、理解を深めることに継続して取り組んでいく。道徳の時間を「道徳的実践力を培う場」として充実させる。	広野っ子の5つの約束では、子どもたちは励ましあいながらがんばろうという意識があることがうかがえる。あいさつに関してすすんであいさつをしていると答えた児童は85%だが、朝の見守りの時はできていない児童もいる。集団になつたらできないが、児童が一人である時はしている。早寝、早起き、朝ごはんなどの生活習慣については、10ポイント以上高くなっている。保護者の関心が高くなっている。
	あいさつ、早寝、早起き、朝ご飯などの基本的な生活習慣を整え、学習習慣が身についている。	生活習慣の確立の指導「できた」80% 保護者「生活習慣が身についている」は95%で良好。	計画的・組織的な行動ができていなかったことに課題。計画的・早期に指導できるように、全校集会等の場で全体指導を積極的に行っていく。	
	「学校いじめ防止基本方針」が機能し、いじめの予防・早期発見とともに不登校対策を講じている。	いじめの予防・早期発見「できた」56%で課題がある。 児童「友達となかよく遊んでいる」は99%と良好である。	職員の情報共有が適時にできなかったことに課題がある。生指事案の内容を確認し、職朝や緊急集合をして報告・連絡をするようにしていく。	
保護者、地域住民等との連携	学校だよりやホームページ等を活用して、学校からの情報を積極的に発信することができている。	保護者への情報提供「よくできた」33%「できた」56% 保護者「学校の情報発信」については99%で良好。	学校・学年・学級だより・ホームページ等で保護者への情報提供を継続していく。さらにホームページで配信を進めていく。	児童アンケートで「学校に行くのが楽しくない」児童がいることについて、学校と地域と福祉がタッグを組んで「子ども食堂」などの取り組みを通し、いろいろな形でつながりを持たせ学校生活を楽しくする取り組みを進めていく。
	地域や小・中学校の教職員の連携協力による授業を充実させ、課題を共有し同じ方向で子どもを育もうとしている。	地域、保護者と連携「よくできた」33%「できた」56%で良好である。	「中学校区学校園所連携連絡会」を定期的に開催、子どもたちの様子の交流、課題の共有を今後も進める。	

6 学校自己評価の実施状況について

時期	内容
4月	学校評価計画書作成・職員会議で提案
12月	児童、保護者へのアンケートの実施、教職員による学校評価
1月	アンケート集約・担当者や各種委員会で検討
2月	学校評価の職員会議・分析・次年度に向けて

7 学校関係者評価委員会の活動について

時期	内容
5月	・第1回学校地域運営協議会開催
11月	・第2回学校地域運営協議会開催
2月	・第3回学校地域運営協議会開催
通年	学校・地域行事への参加及び啓発(学校だより・ホームページ)

※学校自己評価…外部(児童生徒・保護者・地域等)アンケートの実施を含む

8 学校評価の公表について

時期	手段	内容	添付
4月	学校だより	今年度の学校教育目標や指導方針について	○
4月	ホームページ	学校評価計画を公表	
3月	保護者に手紙配布	「2025年度アンケート結果まとめ」を保護者に配布	○
3月	ホームページ	保護者、児童アンケート結果及び、学校関係者評価委員会の意見を学校の考え方と共に公表	